

令和3年度第1回鎌ヶ谷市環境審議会 会議録（書面会議）

第1 開催日

令和3年8月24日（火）から令和3年9月21日（火）まで（審議期間）

第2 開催場所

—

第3 出席者

- 1 委員 木下 勇 委員、長谷川 雅美 委員、時田 将 委員、岩井 武巳 委員
小高 魁 委員、野田 正治 委員、九谷 林太郎 委員、山中 隆之 委員
- 2 事務局 市村 昌子 市民生活部副参事（事）環境課長、
米井 幸男 課長補佐（事）環境保全係長、
畠山 努 副主幹（事）環境計画係長、
滝口 明宏 主査、清水 恭兵 主任主事、森岡 彩夏 主事補

第4 議題

- 1 議題1 市民及び事業者意識調査（アンケート）の設問内容について
市民意識調査および事業者意識調査について、それぞれ3案（A・B・C）の順位付けを行う。その後、順位を考慮し、最終的な設問内容を決定する。
- 2 議題2 環境基本計画策定に係る全体のスケジュールについて
令和3年度のスケジュール案を提示する。

第5 傍聴者

なし

第6 会議の公開 非公開について

公開

第7 開会

令和3年度第1回鎌ヶ谷市環境審議会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面会議とし、令和3年8月24日付け鎌環第557号の通知日を開会日とした。

第8 会議録署名人の指名

会議録署名人に、長谷川 雅美 委員、時田 将 委員を指名した。

第9 議事内容

- 1 議題1 市民及び事業者意識調査（アンケート）の設問内容について

(1) 議決結果

市民意識調査：A案（1位）をベースに、委員の意見を反映させたものに決定。

委員からの意見【反映させたもの】

市民意識調査（A案）問11

意見：「知っていますか」という問いかけでよいのか。知る、知らないはこのアンケートで知ることになるし、仮に知らないが多くても、そこの広報が課題としても、この問題はどうか対応するかが大事な点であるので、一時的なそういう質問をするよりも「気候変動の影響で心配な点はどれですか」とした方がよいのではないか。

対応：「どのような気候変動の影響を知っていますか」を「気候変動の影響で心配なことはどれですか」に変更した。また、選択肢11の文言「すべて知らない」を「気候変動の影響を知らないので、心配していない」に変更した。

市民意識調査（A案）問13

意見：知っているか否かの質問よりも、下記のような選択肢から選んでいただく形式にするのはどうだろうか。

1. 生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全
2. 河川や水路などの水辺の保全
3. 希少な動植物の生息・生育地の保全
4. カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止
5. 生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発
6. 市民が自然と触れ合う機会・場をもっと設けること
7. 市民や市内事業者等が取り組む生物多様性の保全活動に対する支援
8. 特に取り組む必要はない
9. 生物多様性について知らないし、関心がない
10. その他（ ）

対応：意見を参考とし、下記の設問とした。

問13 生物多様性を守るために市が重点的に取り組むべきことはどれだと思いますか。あてはまる番号を3つまで○で囲んで下さい。

1. 生物多様性が豊かな優れた自然環境の保全
2. 河川や水路などの水辺の保全
3. 希少な動植物の生息・生育地の保全
4. カミツキガメ、ハクビシン等外来生物による生態系への影響の防止
5. 生物多様性の重要性やその保全に関する市民への普及啓発
6. 市民が自然と触れ合う機会・場をもっと設けること
7. 市民や市内事業者等が取り組む生物多様性の保全活動に対する支援
8. 特に取り組む必要はない
9. その他（ ）

委員からの意見【その他】

市民意識調査（A案）問10選択肢⑩

意見：再生可能エネルギー、自然エネルギーの「電力」を「電力事業者の利用」としてはどうか。

対応：本選択肢は再生可能エネルギーおよび自然エネルギーの買電を意味しているため、「電力」という表現とする。

市民意識調査（A案）問11コラム

意見：ここに説明を加えることにより、知っているかの質問も心配の質問も誘導のバイアスとなるため、削除すべきではないか。

対応：環境問題等へ興味のない層に対して地球温暖化の影響を知って頂くことを目的とした設問とコラムであるため、このまま載せることとする。

市民意識調査（A案）問12、14

意見：なぜあてはまるものが5つまでなのか。「あてはまるものいくつでも」ではまずい理由が何かあるのか。

対応：優先順位をつけるために、数を限定している。あてはまるもの全てとすると、すべてが○になってしまうこともある。可能な限りすべてに対応していくべきではあるが、限られた財源のなかで優先的に取り組むべき施策を抽出するための5つまでとしている。

市民意識調査（全般について）

意見：意識調査はあくまで一般的な内容であるため、その前に、まずは鎌ヶ谷市職員へのヒアリングを行うことが必要であると考えます。

事業者意識調査：A案（2位）とB案（1位）が僅差であったため、別紙設問一覧のオプション①地域環境活動（A案）とオプション②気候変動（B案）の設問を両方採用することとした。また、下記のとおり委員から意見のあったC案の要素も追加した。

委員からの意見【反映させたもの】

事業者意識調査（C案）問6-1

意見：追加でA案の地域との関連の項目1つ「地域の環境活動への参加・支援・連携」を入れるのはどうか

対応：別紙設問一覧のオプション③循環型社会（C案）の食品ロスとプラスチックごみ削減の取り組みを問6-1に1つずつ追加した（⑰⑱）。代わりに⑥事業所敷地内の緑化、⑳TCFDを削除した。

委員からの意見【その他】

事業者意識調査（C案）問6-1

意見：さらに「SDGsへの取り組み」というのは入れなくてよいか。

対応：SDGsについては、環境以外の幅広い分野も含むこととなるので今回の選択肢は環境分野に限定する。

事業者意識調査（C案）問10選択肢1

意見：「企業イメージ・信用性の向上」とあるが、イメージとCSRは分けた方がよいのではないか。選択肢を「企業イメージ」「企業の社会的責任（CSR）」

の二つに分けるのはどうか。

対応：環境活動への取り組みにより得られた効果を問う設問である。そのため、本選択肢はCSRとして取り組んだ結果、イメージ・信用性が向上したということを表している。

事業者意識調査（C案）問12

意見：なぜあてはまるものが3つまでなのか。「あてはまるものいくつでも」ではまずい理由が何かあるのか。

対応：優先順位をつけるために、数を限定している。あてはまるもの全てとすると、すべてが○になってしまうこともある。可能な限りすべてに対応していくべきではあるが、限られた財源のなかで優先的に取り組むべき施策を抽出するための3つまでとしている。

(2) 議決年月日

令和3年9月21日

2 議題2 環境基本計画策定に係る全体のスケジュールについて

(1) 議決結果

令和3年度のスケジュール案について賛成全員で可決。

なお、委員から、計画策定に関しては委託先に任せるだけでなく、市職員も自発的に関わるべきであるとの意見があった。

(2) 議決年月日

令和3年9月21日

第10 閉会

以上、会議の経過を記載し、相違ないこと証するため、次に署名する。

令和3年10月28日

署名人 長谷川 雅美

署名人 時田 將